

## 平成29年度の主な事業計画(案)

## 1 美術センター自主企画事業（重点事項1）

事業	内容	実施時期等
○「館所蔵品に見る堀口大學と長岡展（仮称）」	長岡開府 400 年・長岡市立図書館開館 100 周年プレイベントとして開催する。新潟県立近代美術館が予定している「堀口大學展」（仮）と連携し図録を作成するほか、これまでにない美術的な視点も踏まえ、長岡の優れた先人たちの魅力を発信する。平成 30 年の長岡市立図書館開館 100 周年を前に、図書館資料の重要性や、教育文化の発展に寄与する図書館の役割などを再認識してもらう機会とする。	11 月 28 日 (火) ~ 12 月 10 日 (日)

## 2 子ども読書活動の推進（重点事項6）

事業	内容	実施時期等
○長岡市子ども読書活動の推進	<p>「長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、保育園・幼稚園、小・中学校、図書館が互いに連携を図り、子どもの読書活動を推進する。</p> <p>① 第二次長岡市子ども読書活動推進計画の策定…委員の公募、関係課ワーキング、策定検討会議の開催。</p> <p>② 館内の取組…「おはなし会」、「子ども一日図書館員」、「としょリンピック」、「ボランティア養成講座」、「読み聞かせ講座」などの開催。</p> <p>③ 地域への支援…「自動車文庫」、「ブックスタート」、「ボランティア養成講座」、「出張絵本講座」などの継続。</p> <p>④ 幼稚園・保育園、小・中学校への支援…「自動車文庫」、「授業用図書貸出」、「ブックトーク」、「出張おはなし会」、「教員等へのサポート」などを継続。</p> <p>⑤ 広報活動…「児童向け図書館報」、「ヤングアダルト向け情報誌」、「教員向け利用案内」の発行を継続。（図書館HP内に、専用ページを開設している。）</p> <p>⑥ 熱中！感動！夢づくり教育事業の取組…米百俵号ブックカーニバル、としょリンピック、小中学校への出張おはなし会・ブックトーク、図書館を使った調べる学習コンクールの取り組みを継続。</p>	通年

### 3 本と人をつなぐ、様々な事業の実施と利便性の向上（重点事項3、4）

事業	内容	実施時期等
長岡市立図書館 開館100周年記念事業	<p>平成30年度が長岡開府400年、北越戊辰戦争150年とも重なることから、関連のイベントを開催し、機運を盛り上げる。また、市内の機関とも連携し、長岡に誇りと愛着を持ってもらう取り組みを行う。</p> <p>①3大イベントの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館まつり 子ども向けコンサート（仮称）</li> <li>・「館所蔵品に見る堀口大學と長岡展（仮称）」</li> <li>・災害復興文庫展2017「巨大地震と図書館～災害と復興をかたりつぐ使命～」（仮称）</li> </ul> <p>②所蔵資料を活用したデザインの缶バッジ、クリアファイル、エコバック、一筆箋、手ぬぐいなどのグッズの作成（一部有料）。</p> <p>③カフェスペース（移動販売車）や図書コーナーと連携した地域の宝や長岡の特色をテーマにしたミニ展示や講演会などの開催。</p>	通年
中央図書館の施設設備の改修	<p>利用者の要望などを受け以下の改修を行う。</p> <p>①美術センターの壁面を改修。</p> <p>②正面出入口スロープに手すりを設置。</p>	<p>①平成30年2月</p> <p>②4月</p>

### 4 文書資料室の取り組み（重点事項1、4）

事業	内容	実施時期等
○長岡市災害復興文庫の運営	<p>平成26年度に開設した長岡市災害復興文庫の資料の収集・整理・保存・公開・発信をさらに進めるために取り組みを行う。</p> <p>①災害復興文庫展2017「巨大地震と図書館～災害と復興をかたりつぐ使命～」（仮称）の開催。</p> <p>②東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）とのデータ連携。</p> <p>③災害復興文庫資料の保存管理・情報発信。 復興に関する歴史公文書を整理・追加、関係機関との連携、被災歴史資料の購入、被災歴史資料の薫蒸。</p> <p>④長岡市資料整理ボランティアの活動支援。 長野県栄村（長野県北部地震被災地）で十日町市古文書整理ボランティアとの交流研修会を開催。</p>	通年
○各種講座の実施	<p>長岡の歴史を知り、郷土への愛着を深めてもらうため「古文書解説講座」や「長岡市史双書を読む会」などの各種講座を行う。</p>	随時

※平成29年度予算案は、3月市議会で審議され決定します。